

近畿地区

I. 国立大学図書館協会近畿地区協会総会

日時:2024年4月26日(金)15:00~17:00

会場:京都大学附属図書館3階 ライブラリホール+ オンライン(Zoom)

協議事項:

1. 第71回国立大学図書館協会総会に向けての準備
 - (1) 第71回総会の研究集会テーマについて
 - (2) 令和5年度地区協会活動状況報告
 - (3) 令和6年度地区理事および地区連絡館の選出
2. 令和6年度近畿地区事業計画
3. 令和6年度近畿地区協会助成事業の選定
4. 令和7年度以降の地区協会助成事業の選定と運営について
5. 「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」に関する意見交換<各館長>

報告事項:(省略)

II. 国立大学図書館協会近畿地区協会事務連絡会

日時:2023年12月18日(月)15:00~17:00

会場:大阪大学総合図書館6階研修室

協議事項:

1. 「即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」(内閣府)への対応について(意見交換)
2. 2024(令和6)年度地区事業の実施について

報告事項:(省略)

III. 地区協会事業

1. 大学におけるデジタル技術の活用に関する事例報告会

実施期間:2023年10月2日(月)13:00~12月15日(金)17:00

形式:オンライン(事前収録した事例報告動画を実施期間中に視聴)

担当:滋賀医科大学

プログラム:事例報告14件(各10分程度)

筑波大学、新潟大学、長岡技術科学大学、福井大学、名古屋大学、名古屋工業大学、滋賀医科大学、京都大学、京都工芸繊維大学、香川大学

動画再生総回数:5,815回

2. 西洋古典資料保存講習会

日時:2023年12月1日(金)10:00~17:00

形式:ハイブリッド(対面、Zoom ミーティング)

場所:神戸大学フロンティア館プレゼンテーションホール

担当:神戸大学

プログラム:

- ・ 概要説明「西洋古典資料保存ネットワークについて」
- ・ 事例報告 1:坪内奈保子氏(国際日本文化研究センター)
- ・ 事例報告 2:日吉 宏美氏(神戸大学附属図書館)
- ・ 講義「本を残すために:一橋大学社会科学古典資料センター保存修復工房での取り組みから考える」(講師による実演:保存容器製作)
- ・ 実習:ドライクリーニング、保護ジャケット製作、封筒フォルダ製作、オリガミ・ラッパー(実演)
- ・ 神戸大学附属図書館貴重書庫、社会科学系図書館内、資料展の見学会

参加者:国立大学 19 機関 65 名、私立大学 10 機関 14 名、大学共同利用機関 2 機関 2 名、その他 1 名 計 31 機関 82 名(内 対面参加 28 名、オンライン参加 54 名)

3. 国立大学図書館協会近畿地区協会事業「きみも大学図書館で働いてみないか」 (通称:キダハミ)

主担当:大阪大学・京都大学・神戸大学

活動内容:5 大学 13 名のワーキンググループを設置し、以下の取組を実施

- (1) 大学図書館の事業・業務の周知
 - ・ X(旧 Twitter)、事業ウェブサイトから、業務内容紹介、大学図書館入職に関する質問へ回答
 - ・ 京都女子大学主催の学内公務員業務説明会(2023.12.16 開催、約 50 名参加)において、メンバーから大学図書館業務について説明
 - ・ 「図キャリアイベント」(2024.3.1 開催、京都大学、複数セッションにおいて延べ 25 名参加)を主催
- (2) 志願者の多様性向上
 - ・ イベントの集客ルートとして広報手段を工夫
 - ・ イベントでオンライン謎解きゲームを実施
 - ・ イベントで一般就活生向けの催しと大学図書館入職志願者向けの催しを複数配置
- (3) リクルート情報提供機会・媒体の改善
 - ・ 近畿地区国立大学法人等職員採用図書系専門試験実施委員会広報小委員会と連携して、採用案内のウェブサイトを改善(2024.3.1)
- (4) 業界全体での課題意識の共有
 - ・ 業界誌への活動紹介投稿(「図書館雑誌」117(7))
 - ・ 国大図協シンポジウムでの活動紹介(2023.12.12 開催、東北大学、約 400 名参加)